

# Cisco Secure Endpointコンソールの非アクティブなコンピュータのしきい値の変更

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、Cisco Secure Endpoint ConsoleのInactive Computer Thresholdを変更する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Secure Endpointコンソール

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 問題

しきい値で指定された日数が経過してもシスコのクラウドにチェックインしていないコネクタ付きのコンピュータは、コンピュータリストから削除されます。

## 解決方法

Inactive Computer Thresholdでは、コネクタがComputer Managementページリストから削除されるまでの日数を指定できます。この日数は、シスコのクラウドにチェックインせずにコネクタを配置できる日数です。デフォルト設定は90日です。

Cisco Secure endpoint console > Administration > Organization settings > Features > Inactive Computer Threshold :

AV Definitions Threshold

Inactive Computer Threshold

Google Analytics

7 days

30 days

✓ 60 days

90 days

180 days

365 days

データが削除されたり、コネクタがアンインストールされたりすることはありません。自動削除には、しきい値に達してから最大7日間かかります。非アクティブなコンピューターは一覧からのみ削除され、生成されたイベントはセキュリティで保護されたエンドポイント組織に残ります。コネクタが再びチェックインすると、コンピューターがリストに再表示されます。

注：ライセンスは、コネクタがコンピューターページリストから削除されても回収されません。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。